

評価学概論

[講義] 第2学年 前期 必修 1単位

《履修上の留意事項》受講生は教科書を持参して講義に臨むこと。
初回の講義時にオリエンテーションを行うので必ず受講すること。

《担当者名》浅野雅子 asanom@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

ディプロマ・ポリシー3に記載されている「作業療法士として必要な科学的知識や技術」を習得するための基盤科目である。作業療法で実施する評価の基本的な考えや目的、さまざまな評価方法を理解する。また、作業療法における共通の評価法を知り、以後の各評価学および評価学実習履修のための基盤を作る。

【学修目標】

各講義テーマと教科書の該当する章に記載されている一般（教育）目標（GI0）と行動目標（SBO）を適用する。よって受講生は教科書を持参して講義に臨むこと。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	作業療法と評価	評価とは 作業療法の実践過程 ICIDHからICFへ	浅野雅子
2	作業療法と評価	情報収集 面接 観察	浅野雅子
3	作業療法と評価	評価の目的と意義 評価の手順と手段 評価実施上の留意点	浅野雅子
4	作業療法と評価	評価のまとめと問題点・利点の抽出 治療目標の設定 治療・指導・援助計画の立案 再評価と作業療法の効果判定	浅野雅子
5	作業療法と評価	記録・報告の意義と特徴	浅野雅子
6	領域共通の評価法1	面接	浅野雅子
7	領域共通の評価法2	観察	浅野雅子
8	まとめ	作業療法評価のまとめ	浅野雅子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（100％）

【教科書】

能登真一 他 編 「作業療法評価学 第4版」 医学書院 2024年

【参考書】

日本作業療法士協会 「作業療法学全書 改訂第3版 第3巻作業療法評価法」 協同医書出版社 2009年

障害者福祉研究会 「ICF 国際生活機能分類 国際障害分類改定版」 中央法規出版 2002年
厚生労働省大臣官房統計情報編 「ICF-CY 国際生活機能分類-小児・青少年に特有の心身機能・構造、活動等を包含-」 厚生
統計協会 2010年
上田敏 「ICF(国際生活機能分類)の理解と活用-人が「生きること」「生きることの困難(障害)」をどうとらえるか」 萌文社
2005年

【学修の準備】

1. 次回の授業範囲をキーワードや修得チェックリストを中心に事前に予習すること(80分)。
2. 復習は教科書の行動目標が可能となるように自己学修すること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2. 作業療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

浅野雅子(作業療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かして講義を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している